…紅糧價錢五吊四百文至五吊…
集…共上車三十餘輛
邊…共來七十餘輛
元…吊九百至六吊八百

…全…九…同…
赤…全…大樽…同四圓
札幌麥酒…四打入…同九圓三十錢
蜂印香竄葡萄酒…全…同九圓八十錢
…同二十二圓五十錢

筍…二打半…同八圓五十錢
梨…四打…同十一圓…
桃…全…同九圓五十錢
人形ミルク…全…同十二圓五十錢

…一全…切込…全…全…十四圓五十錢
澤鶴…正味四斗四升入…十七圓
サツポロビール…九圓七十錢
(宅合名會社調査)

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料…一…長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街
滿洲日報社
(電話二九番)

告示

關東總督府
陸軍大將男爵　大島義昌

出示曉諭事照得橫濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異與元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益己爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其膺日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是橫濱正金銀行玆奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色旗民紳商等一体知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸謠之徒諸言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

橫濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ距通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ネク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ橫濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時ニ一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ玆ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ橫濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮說ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月
關東總督男爵　大島義昌

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八番)

宅合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印幷一切雜貨其名舉己傳播於滿洲全地矣今又擴在西營子老爺閣街回盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布綿衣帶標布手巾花巾東洋綿子洋胰鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屈臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘機房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米栥更爲合宜衆從有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹業及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幇火輪船生意兼賣各封洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十二號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己幷另設銀爐包營銘鑄以應急需久爲　中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙窩燒船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商 瑞生洋行

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌(斯達)櫻花牌(撓利)百合花牌(利利)均已馳名內外玆特運上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)淸香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

玆爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙烟雙鶴牌(隆沽來福)百合花(利利)櫻花牌牌(撓利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

特別廣告

橫濱正金銀行牛莊支店

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話十番　支配人室
電話百八番　事務室

松茂洋行商業部

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市稻岐町三百三十八號　日華運輸公司
大連市磐城町四十九番地　岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同　全泰號
遼陽　遼陽俱樂部　谷口今朝太郎

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)
院主　森鐈
醫長　鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

今般小賣部を新設し官製刻煙草の小賣を開始致候間不拘多少御買求被下度奉願候
官製紙卷煙草及刻煙草一手販賣　江副洋行

三井物產合名會社 牛莊支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
(電話六十六番)

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、錢子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九二組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閲是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需謹本主人啓

雜貨卸商

營口元神廟街
關東公司雜貨部

代理 道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商　瑞記洋行代理人謹啓

倫敦電報

●デリーメールの勸告 デリー、メール新聞はチエムバーレーン氏の政見を採用しバルフオア氏を首領とし以て党の統一を圖るへきことを勸告せり、

●グレー夫人の異變 サー、グレー夫人は昨日馬車より落ちて猶人事不省なり

●伊國議會の否決 伊國議會は百八十八票に對する二百二十一票の多數を以て現內閣信認案を否決せり

●グレー夫人其後の容態 サー、グレー夫人は腦震盪の爲めに容態甚だ危險なり然れども回復の望み絶したるにあらず、

●巴里市の一大椿事 昨日巴里に於て容易ならざる騷動起れり、三千の群衆は議會附近の聖ペテロ寺院に立て籠り瓦石を投じて鎭撫の爲めに來りたる消防夫を苦しめ、消防夫は屋根に登り、ポムプを以て群衆を水責めにし軍隊は正面より突撃して總に其多數を解散せり殘れる者は全身水に濡れ流血淋漓たり寺院の周圍には彌次馬連を以て人の山を築き憲兵は拔劍して之を制し幾多の衝突を生せり　（以上二月二日發電）

●バ氏の候補反對問題 倫敦市に於けるバルフオア氏の候補反對の問題は未た決定せす、自由黨の機關新紙は論じて曰く吾人は飽くまでバ氏と戰ふて將來に於ける渊氏の立場を明かならしめざるへからず斯くせば反對黨は保護貿易に固着して長く政權より離るゝか或は四分五裂して彼等の所謂財政問題なるものは再び實際の政治問題に上らさるへしと　（二月三日發電）

●墺塞兩國爭論の終結 墺國とセルビア國との爭論は終結せりセルビア國は墺國の壓迫に屈してバルガリヤ國との關税聯合を放棄せり　（二月四日發電）

雜報

●米國の損失 華盛頓電報の報ずる所に依れば米國は今や清國に於ける米國品排斥運動の爲め米國貿易か痛く損害を受けたる事を認むるに至り現に右運動の結果は滿洲小麥の清國輸入高が米國小麥の夫を超過するに至れりとて米國の輿論は同問題を輕々に觀過せるとの失策なりしを覺り來れりといふ

●非常税の將來 政府の提出案に依れば非常特別税は無期延期にして其の性質を永久税に變せんとするものなり然るに右の税目中印紙税登錄税交通税等の如く全廢若くは減率を要するもの一にして足らざるのみならず租税額一億六千萬圓の約三分の一に居り地租の如き百分の三箇三より百分の五箇五に增加さるゝ農民は到底其の負擔に堪へす結果商業と共に農業の發達を阻害する事となり國家の前途は大に憂ふへきものありとて政友會中にも非常特別税の全部無期繼續には反對者多しと

●內債募集の準備 臨時軍事費四億五千萬圓の內一般市場より募集すべき公債は二億圓なるが今や金融は稀有の緩慢を示し一般金利漸次引弛まんとするの現狀なるより政府は此時機を以て最も公債募集に適當なりと認め一日も早く募集に着手せんとの意向にて臨時事件費支辨に關する法律案の速決を求めつゝあるが該案にして兩院を通過せは政府は直に公債發行に關する規程を發表するの準備中にあり而して發行順序の大体は初めに一億圓、次に一億圓を發行し其初回の拂込は成るへく本年二月中となさん計畫なりと

●肅親王の蒙古調査 肅親王か兩宮の命に依り親から蒙古に赴きて各種の調査を爲す計畫ある事は豫て聞及へる所なるか今ま聞く所に依れば左の件々は其調査中の最緊急なるものなりと云ふ
一、庫倫樹潤爾札薩に於ける露國商人の營める金廠情況
二、三音諾顏汗と扎薩克圖汗との間に生せる四十萬元事件の紛擾
三、庫倫恰克圖に於ける出入貨税の情況及び其私弊の有無
四、庫倫に於ける喇嘛達賴及び喀爾喀四部汗王とが露人との關係何如
五、外蒙古四部（烏里雅蘇台庫倫科布多その內にありの礦産及び蒙古の荒地が露人の購入に爲り居らざるや
六、蒙古の情勢は庫倫大臣及烏里雅蘇台將軍と會同し蒙古王の中聰明才幹ある者を擇び每部落に於て一人を擇び（外蒙古喀爾喀四部は土謝圖汗部、車臣汗部三音諾顏汗部、扎薩克圖汗部なり）共に四人を以て練兵事宜の責任を盡さしめ以て自强の基礎を立つる事

●清國と合衆國 華盛頓來電に據るに米國外務卿ルート氏は清國遣外大臣を接見して米國は誠意を暴て之を迎ふる旨を述べ又米國の清國に對する眞感想に就て說く所ありたりといふ

●練習艦隊航程 練習艦隊嚴島松島橋立の三艦は既記の如く二月十五日午前横須賀を拔錨し直に八口浦に向け韓國沿岸より罘芝、呉淞、香港、麻尼拉、メルボルン、木曜島バタビャを經て七月四日新嘉坡に到着し同月九日同所出發澎湖島、竹敷、元山、大湊に假泊し八月二十五日横須賀軍港に歸港の豫定なり、右航程一萬九千百六十海里航海日數百二十日半なり

●軍票の處分 滿洲に於て發行したる我軍票の總額は前後一億三四千萬圓に達し現に五千萬圓以上は滿洲に流通しあるが我が財政當局者は右の五千萬圓は成るへく之を引換へす正金銀行支店をして其の運用に任せしむる筈尤も軍票と云へる名稱は平和克復後不穩當の嫌ひあれは何とか改稱すへしといふ

●魯提督の危篤 前の露國東航艦隊司令長官ロツズゼストヴエンスキイ提督は我邦より歸國の後は露國海軍大臣に任命せらるべしとの噂なりしが日本海戰の創痍再發せしか若しくは他の病因にや昨今危篤の報あり報にして信ならば同提督の爲め両情の至りに堪へず

●キリル大公流浪 マカロフ中將の旗艦ペトロバウロフスク号か我か機械水雷に罹りて轟沈したる際同中將と共に一度海中に轉落せしも運强く救はれて一命を全うしたるキリル大公は其の後放逸の爲に遂に露帝の逆鱗に觸れ官職を奪はれたるを以て露國に身を措き兼ね獨逸永住の計畫を立て目下同國ユブルヒ附近に於て地所を購買しつゝありと云ふ

●日本品の需要 朝鮮にては前に服制改良の結果一般に色金巾の需要漸く增加し殊に婦人は近時服裝及び裝飾品に日本品を用ゆるもの多數と爲れりといふ

●世界最長隧道の開通 豫て工事中なりし瑞西シムプロン隧道は延長十二哩四分の一あり世界最長の隧道なるが此程愈々工事完成列車の運轉を開始せりといふ

●浦鹽の再擾亂と死傷 上海よりの報道に依れば今回浦鹽の再擾亂あり死傷者二百名を出せりといふ

●載澤殿下の御聽講 清國皇族載澤殿下には去廿七日午前芝離宮に於て高等隨員並に通譯官陪席の上法學博士穗積八束氏より帝國憲法の講演を御聽聞あり午後は荒井大藏省主計局長を御招待の上財政の大要に關する講演を御聽聞相成りたり

●樺太の酷寒 樺太島ラジミロフカに於て去月二十一日最低氣温氷點下四十二度に降りたる旨第十臨時觀測所より報告ありたりといふ

●高齢華族に恩賜 子爵梅園實紀、子爵稅所篤兩氏には本年八十歲の高齢につき、又公爵德川慶喜伯爵樺山資紀伯爵板垣退助子爵谷干城、子爵中牟田倉之助、子爵山尾庸三、子爵竹屋光昭、子爵米倉昌言、男爵粟田口定孝の諸氏は七十歲の高齢につき又男爵松本順氏は七十四歲の高齢に達し先般華族に列せられたるにつき此程御紋付御盃一組酒肴料一封を下賜されたり

●最大急行列車と特別賃金 鐵道作業局にては凱旋軍隊の輸送完了を機とし新橋神戸間に最大急行列車を運轉する筈にて同列車に使用する特別ボギー車は目下新橋工場に於て製作中なるが一二等の新製特別ボギー車四輛を以て編成し至極善美を盡したるものなりと又最大急行列車の乘客に限り指定割增賃金を徵收するてとゝなり昨今主務省と交渉中の由なるが其實施期は多分來る四月一日なりと

●露國の前途

（ペトロフ氏の談）

露國ルツシ新聞通信員ノルカプイ、ペトロフ氏が此程我邦に來遊某新聞記者に對し語れる談話の要領なり氏自ら革命黨員を以て任ずる丈けありて意氣頗る軒昂、露國現政府の腐敗を痛罵し現時の革命擾亂の眞相を穿ち露國前途に就て談ずる所痛快を極めたり

▲共和政治と爲らん 氏は先づ露國革命運動の結局如何との問に對して開口一番喝破して曰く今より二年の後には露國必ず共和國と爲らん、露國革命運動や由來久しく根柢甚た固く一時强壓手段を以て抑壓するも遂に獨裁專制政府の顚覆を見されば止むへからず、今や現政府は革命派に歩一歩を讓りて立憲君主政を布かんとするに決したる如くなるも露國の革命派豈に之に滿足せんや今より二三年前政府は革命運動の激甚ならさるに先ちて斷然施政の方針を改めたらんには革命派は或は立憲君主政の制度に滿足しゐるならんも知るへからさるも今や時機已に後れたり、今日に於ては革命派已に公々然社會民主說を唱道して共和政治を布くに非すんは滿足せさるの意嚮を示せり

▲國會は一變せん 露國政府の近々開設せんとする所謂國民議會は政府の召集を待ちて開會すへきも決して政府の豫期する如く現政府制定の議院法を遵奉して議事を進行せすして開會劈頭直に大多數の動議を以て國會を一變して立法議會と爲さん、此立法議會案は夙に革命派の手に起草成りて國民議會開會の日を待てり、革命派は此の立法議會に於て憲法を制定し議院法を定め而して堂々社會民主々義の政治を布き現政府を根柢より刷新して新政府を組織せん

▲革命派の勢力 國民議會開會の曉此一大政變を見んことは革命派の勢力の至大なるを知る者の毫も疑はさる所なり、露國革命派は三大派に分れ各其勢力を扶植するに汲々たりしが今や三派相合して立憲民主黨と稱して各派敢て其主義を枉けさるも大綱領に於て合同し有名なるペルンクーウヰチ氏之が牛耳を執りて號令の整々たる驚くへきものあり、三派とは何ぞ、一を社會民主黨と稱し二を社會革命黨と稱し三を自由立憲黨と稱し外に實業勞働家の組織せる實業進步黨と稱する一派ありてノルベ氏之が牛耳を執り勢力侮るへからさるものあり前記の三大政黨と相呼應して革命主義を皷吹すること熾んなり

▲軍隊內の革命氣燄 露國現政府は軍隊の力を藉りて革命派の運動を鎭壓せんとするも近頃將校は概ね革命派に同情を表し軍隊內に革命主義の急を傳播しつゝあり唯ゝ將校中には革命主義の漸に由りて意見を異にするものあるが爲め未た各隊一致して氣脈を通するに至らす、過般莫斯科市內に演出したる椿事の如きも意見の不一致よりして端なく民黨との衝突を見るに至りしも後に至りて悟る所あり益ゝ大同一致の歩武を執るの必要を感ずるに至れり、今後又或は相互の誤解よりして軍隊と民黨との衝突を來すことなきを保すへからすと雖も遂には一致の運動を見るに至るならん

▲革命派の機關紙 ルツシ新聞は革命派の大機關新聞にして二十万の購讀者を有し勢力甚た熾んなり、此新聞は始め革命派唯一の新聞紙なりしが近頃露國政府の檢閲法稍ゝ寬大と爲れるに從ひ「スイン、アテーチエストワ」「ーシヤ、ジーズニ」等の革命派の新聞發刊せられて革命派の氣焔大に揚れり、ノーウオエ、ウレミヤの如きは保守派の新聞と見做して可なり、常に革命派の新聞に反對して政府の爲に辨護するは笑止の至りなり

●大連灣の結氷 本年は滿洲各地何處も例年より暖氣を覺え當營口の如きも昨年より十數日も後くれ漸く結氷したるが大連灣も亦例年に後くれて去る二十四五日より結氷し初め普通商船錨地は一面の氷と爲り爲めに陸上との交通絶ゆるに至れるを以て普通商船には海軍棧橋及び大棧橋の使用を許可するとと爲れりといふ尤も本年の結氷は昨年よりも餘程薄きも陸より約半里許結氷せりといふ

●軍票益々好況 人並より一割も足らぬ癖に大きな顏をと輕蔑せられ人をしてこれがお金かと思はしめたる軍票も春來頓みに景氣付來りて九十六錢と爲り九十八錢と爲り昨は又五厘方騰貴して當郵便局の受渡は實に九十八錢五厘といふ高値を現はし正金銀行は九十九錢迄騰りたるやに聞けり軍票の景氣斯の如くなれば支那人側にても安心せしと見え昨今正金銀行は大口小口とも引換極めて僅少にて店員は閑散を喜び居れりとなり

●歸國者と再來者 戰爭の終結と共に在住同胞中內地に歸國せし者は少々の數にあらさりしが不思議なるは歸國者の大部分は復た間もなく、渡來する事に在り然らさるも在留の知巳等に對し不日再び渡淸する旨通報し來る事に在り固より營口より歸國せし者は再び渡淸して營口に在住するや否やは疑問なりと雖も其の滿洲に在住するは疑ふ可からす抑も之れ何の爲か想ふに一度は內地の風景を慕ひ凱旋の景氣を見越して歸國せしも、實際に於ける內地の景氣は不景氣と見くびりたる營口の景氣にも遠く及はす殊に事業には順序あり、社會には秩序あり、呑氣なる滿洲の生活と骨の折れさる滿洲の事業とは到底比較だにならす、於是轉々歸國の早計を後悔するに當り、會々懷中も寒さを覺へ、懷中寒さを覺へては山川の景色も目に止らす即ち勇を皷し以て再擧を企る次第ならんか前車の覆るは後車の戒也殘留せる同胞は此邊の事情に能く注意し輕擧以て後悔せさる事肝要也

●與倉長官の歸營 北京天津へ出張中なりし與倉長官中村一等主計蠟山副稅關長は一昨夕歸營せられたり

●井上正金奉天主任の赴任 過日來滯營中の元正金銀行長崎支店支配人井上一雄氏は今明日頃新任地なる奉天へ赴任せらるゝ筈

●堀越憲兵長の出張 當軍政署憲兵長堀越大尉は或る重要用件を帶び一昨夕奉天へ向け出張せられたり

●與倉長官と英國將校 與倉長官の天津に滯在せらるゝや同地駐在英國陸軍將校六名は長官の英國軍人に對する厚遇を謝せん爲め美麗なる置時計一個を贈呈し以て感謝の意を致せりと云ふ

●瀨川領事の招宴 瀨川領事は昨日正午時より目下滯營中の井上正金奉天主任三田村前代議士を始め中村正金支配人同夫人馬塲達郎遠藤藤次郎氏等を招待し午餐を饗應せられたり

●谷飯塚兩氏の美擧 日露戰役中淸語通譯として從軍せるもの約六百名なるが谷信近氏は從軍通譯名簿を編纂し飯塚松太郎氏は印刷費用を負擔して夫れ〳〵配付せられたり美擧と云ふべし

●種痘に就て 一昨紙投書欄に衞生家なる人より當營口に種痘の實施せられさるを憂ひたるが聞く所に依れば軍政署より既に內地へ痘苗を注文し近々到着の由なれば著次第早速施行せらるゝ筈なりといふ

●盜難者の不注意 近來市內到る處盜難に罹る者多く每日軍政署に盜難屆出をなす者實に四五名にも及ぶ由なるが其筋にては屆出每に早速現塲に出張し臨檢するに屋內に侵入する者は至つて少なく多くは屋外の物品又は戶締の不注意より其難にかゝる者多き由なり是等は充分各自に於て注意すべき事にて猥りに公務多忙の官憲を煩はすとは實に不都合の次第ならずや

●藝妓仲居 周易斷判

朴捻老

祇園閣　お新（つやき）　本名小木曾シム（明治八年二月一日生）

さすがお前さんも日本人じや目色毛色の變つた異國の人は面白くないと見え半年たつかたゝぬうちに僅かな金を懷に入れ館を飛出し少しの知るべをたよりて京都へ御座つたであらうがな、暫く此地で水娼賣をして居たが或人に身受されて僅かの間京の近在に四疊半を氣取つて居たがその人に緣が無く又候粹とか意氣とか云ふ祇園新地に歸り某娼賣屋の抱となり一時は大分名を賣つたじやらう、處が其後借金も無くなつて自前とか云ふものに爲つて現れたが何が扨て前の性質は兎角やりつ放しの方で金錢を粗略にする質じやから家計を維持して行く事が出來ず又もや借金の爲めに二度程、何處かに抱へられるような事に爲つたであらうどうじやそれに違いは無からう又お前は幼ない時から可なり腕が凄い方だから隨分これ迄好い客筋を手に入れた方であつたらうが、皆緣が無くつて見捨てられたり或は浮氣の爲めから客筋を失敗たりした事が御座らうがな、それに前にも云ふた通りお前の氣質は珍らしく岐阜衆に似合ぬ勝氣イヤ意氣地と云ふのが强い方だから其結果として往々身を早まるような事が起るじやて現にその爲めに成田屋か音羽屋か新駒屋かの流れを汲んだ男と大變苦勞したであらう最もこれは今後ともにお前の愼まなければならぬ道じや、それから一時はコンナ娼賣を止め堅氣にでも爲つて主に盡さうなどゝ善い考を起しやつて暫らく針仕事なぞの稽古を一生懸命にやつて御座らつしやつたよう、じやがそれも例のお前の氣質故又もやおじやんになつて元の商賣をさつしやつたぢやらう、どうぢや的中だらうハヤヤ（まだ〳〵）

●でたらめ草 △△△

世の中には極めて美しいやうに思はれて居るもので實際は醜なるものが少くない極めて醜なるものでもそれが却て美とせらるゝことがある▲花は誰れが見ても美しいに相違ない美の形容は殆ど「花」の一字によりて其大半を蔽ふことが出來るが若し花なるものが植物學上植物の生殖器であるといふことを考へたなら何んと愛想がつきるではないか▲裸體は醜である併し裸體美は美の神體を得たるものといふ其の何事を意味するかは分らぬが植物の生殖器たる花が美である以上裸體美の美の極致たるは別段異しむを須ゐぬのである（△△坊）

汽車

▲上行車時刻表

車站名	午前點分	到午點分
新民屯至溝帮子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至豐台	上 十一、八	下 六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間、下り列車

驛名	發着時刻
大連	發午前 九、〇〇

上り列車

驛名		發着時刻		
遼陽	着午後	三、五〇	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發	一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發	三、一〇

大連旅順

驛名		
旅順	發午後	一、〇三
大連	着	五、三二

營口線下り列車、

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●西園寺首相の演說（貴衆兩院に於て）

本大臣は曩に大命を拝みて重責を擔ひ今日親しく諸君に對して大政に關する所見の梗概を陳述するは本大臣の深く光榮とする所なり

顧みれば去る三十七年露國と釁端の啓くるに當り軍國の經營内外の施設悉く正鵠に適ひ時局に應ずるの措置に於て遺算なく戰捷の偉功を奏し克く國威を發揮するを得たるは上　陛下の御稜威に由り下將卒の勇烈に因ると雖も抑も亦我國民義勇奉公の聖旨を奉戴し朝に野に各〻其の分に隨ひ其の職に應じ忠誠を披瀝し擧國一致の實を示したるの效果たらずんばあらず而して米國大統領の平和を重し進て忠言を帝國及露國に致すや我

天皇陛下は深く其の好意を諒し玉ひ露國と和好の條約を締結し玉ひ平和の克復を見るに至れり我國民此昭代に遭遇して協力一致振古未曾有の鴻業を贊襄するを得たるは本大臣の諸君と共に慶賀に堪へさる所なり曩に英國と改締したる協約は能く時運に適し其效果の著しきものあり東洋平和の保證は之が爲め愈〻確實となれり向後此の保證をして益〻牢固ならしめ以て永遠に其の目的を達するを期するの要あり而して韓國に對する帝國の關係も漸次の協商を歷て益〻密接を加へ能く帝國の地位を明確にするを得たり

帝國が交戰に際し執りたる正義と公平とは深く列國の同情を得平和克復後締盟各國との交際益〻親厚を加ふるは亦大に悅ぶべき所なりとす

我國が戰勝の效果を完全に收め愈〻國運の隆興を期するに於て擧國一致の力に倚るは滿韓國の際に切なるに讓らず彼の滿洲の經營韓國の保護は共に帝國の應に努めさるへからさる所にして國力の發展は一日を緩ふするを容さず即ち内に在ては財政を鞏固にし陸海軍の充實及産業の發達を計り敎育の普及と學術の進步とを講するは固より忽にすへからさることに屬す從て之に伴ふ諸般の政務も亦大に改善と進步とを圖らさるへからさるものあり外に在ては帝國が滿洲に於て獲得したる利權の實效を收め韓國との協約に基き保護を完ふするに於て遺算なく指導啓發の道に於て缺くる所なきを務むるは共に急要措くへからさることゝす又清國と益〻親睦を敦ふし我帝國の至誠を貫徹せしめ共に文化の衢に併進するは齊しく外交の急務なりとす其の他戰勝に由りて獲たる光榮と利權とを永く維持し益〻之が伸張を期するに於て必要なる施措頗る多し之を要するに現今内外の事務は至繁にして而も一として緊要ならさるなく政費の增加を來たすは必然の勢なり我國民は戰時に於ける熱誠を更に發揮し此の重大なる負擔に任ずるの覺悟あるに非ざれば帝國の光榮を無窮に傳へ帝國の利權を伸張する能はさるなり

今や我國民は上下心を一にして擧國一致以て戰後經營の大計を樹つへき秋なり本大臣は此の大責任ある樞機に當り恐懼措く能はさるものあり然れども亦奮て蹇々匪躬の節を竭さむことを窃かに期す諸君も亦國家此の時運に際し戰後經營の大經綸を畫するに於て協力一致國論の一定に努めらるべきは本大臣の希望に堪へさる所なり

政府は以上陳述せる方針に基き漸次畫策を立て諸君の協贊を得て之が實行を期せむと欲す而して本議會に提出し又提出せんとする豫算案及法律案は現下の急に應するに於て止むを得さるものなり此の諸案の詳細に至りては本大臣及當局大臣に於て說明する所あるへし本大臣は終に臨みて諸君が此の國家緊要なる時局に際し克く政府の意の在る所を察し和衷協同以て協贊の任を竭されむことを望む

●對清爲換暴騰の源因

正金銀行に於ては去月廿四日對清爲替を俄に一兩二分〇一方引上げ翌廿五日も續て二分の一方引上げ上海參着を七十二兩と爲したるが其原因に就ては未た詳悉すると能はさるも過般來香港上海等の市場が陰曆歳末に迫り金融益〻逼迫し殊に爲替資金の缺乏を感じ居りたるものから對清爲替は益〻下落を示しつゝありたるが既に二十五日より新年に入りたる事とて同地の金融界も是迄の如く繁忙を來さす目先或は反動的緩慢を來す事なしとも限らさる場合となりたれば是等の事情の爲め爲替の騰貴を促しつゝあるものゝ如く二十四日は倫敦銀塊も小縮を報したるに拘はらす却て引上げを實行したるなるべく是に伴ふ自然の結果として舊臘橫濱神戸等より盛んに輸出せられたる金貨も漸次減少するに至るへしと云へり

●清國の織物需要

現下清國に於ける織物の需要は其大部分は在來清國産のものを用ゐ其意匠仕上げに就ては格別進步の跡を見ずと雖も近時歐米より輸入するものに在りては其意匠色澤に於て大に勝ぐれたるものあるを以て着々彼等の嗜好に投じ價格の比較的不廉なるにも拘らず上流社會及花柳社會にありては非常の勢力を得つゝあり然るに本邦織物の貿易を見るに未だ創始の時代に屬し其意匠色澤等未だ正確に彼等の嗜好に投せるものあるを見ず由來原産地に近き上海に在りては在來の清國製のものを模して價格の點を以て之に打勝たんこと頗る難事に屬するを以て在來のものに歐米産出品を參酌して本邦獨特の意匠と技能とを以て新品を製し一度び彼等の嗜好に投せば價格に於て歐米輸入品を壓するを得べく織成に於て優に清國産のものを凌ぐことを得べし殊に上海の如きは歐米文物の刺激を受くること甚しき爲め内地の支那人に比して嗜好の推移多きが故に一度び彼等の注意を惹かば其需要の膨脹は尠少ならさるへしといふ

●樺太航海の一頓挫

冬季間樺太の航海に就ては當局者に於て苦心の結果滊船大禮丸に碎氷用の工作を施し樺太青森間一ヶ月三回を往復せしめて結氷中と雖も航海を繼續し少くも郵便物の送達に差支無からしむると共に冬季航海に於ける各種の調査を遂げんと計畫なりしに大禮丸は曩に小樽港に於て座礁し目下橫須賀に入渠修繕中に在り當局者の冬季航海に關する計畫は玆に一頓挫を來し爾來樺太との交通は全く杜絕し僅に一條の海底電信に依りて其消息を知り得るに過ぎざる事と爲れり今聞く所に據れば本邦の碎氷船は大禮丸一艘のみにして其工作に三ヶ月余を要したりと云へば今よりも新に他の滊船に碎氷用の工作を施こすとするも到底冬季間航海の間に合はされば大禮丸の修繕にして迅速竣工の見込なければ冬季間樺太の航海は遂に杜絕するの外なかる可しと云ふ

●大阪商船の大連經營

同社にては大連に於る舊海軍防備隊所在地の附近に二棟にて六百坪の倉庫を建設すると共に大連の目貫なる日本橋通南廣場に事務所を建設し目下倉庫全体にて五六千噸の貨物を収入し得る運に至りたり又軍隊引揚後は棧橋を利用し貨客の降乘をして現在よりは一層便利ならしめ占領鉄道沿線に於ける物資の集散も今後はその面目を改めしむべく昨今にても沿線の大豆は少額ながらも鐵道便によりて大連に輸出さるゝ狀況なれば前途平時の狀態に復せんには石炭の輸出と共に滿洲の農産物はこの線路によりて集散さるゝもの尠少ならさるへく往時對韓貿易の穀類が當初バラ積のもの本邦との關係密なるに從ひ叭入となりし如く滿洲大豆も自然の發達を見るに至るべく同社にては今後の大連に大に着目して種々の經營をなしつゝありて既に新造船の大連航路につく外今後の模樣によりては特に臨時船を仕立て戰後經營の先驅たる任務を盡さん考なりと

廣告

公示

一、厚皮燒屑　二十貫匁
一、短靴燒屑　二十組
一、冬繻絆袴下燒屑　四百貫匁
一、カタン糸燒屑　三百個
一、羅紗燒屑　五十貫匁
一、燒屑鐵具類　三十貫匁

右明治三十九年二月十日午前十一時牛家屯兵站司令部に於て競賣ス依テ本日ヨリ現品ノ縱覽ヲ許ス牛家屯縫靴工班ニ付テ見ルヘシ
明治三十九年二月一日
營口兵站司令部

募集公告

當局電話交換手募集す志願の者は(日本人)にして年齡十六歲より二十五歲まで視聽力完全身体健康なるもの自筆履歷書携帶當局へ出願す可し
營口軍政署電話局

解雇廣告

舊書記　渡邊德重
右ハ昨三十八年十二月二十八日解雇爾來本會ニ更ニ關係ナレ此段廣告ス
遼陽日本人會

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車六千輛
第二號　二輪荷馬車輓具六千組
第三號　一人挽徒步車一萬三千輛

此入札保證金は各自積代金の百分の五以上
右競賣に附し賣却す入札望のものは當所倉庫に就き（自午前十時至正午）現品及入札心得書幷に契約書案等熟覽の上來る三月一日（自午前十時至正午）當所へ入札書差出す可し但仝日正午開札す
此契約は門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所長宗村傳喜擔任す
明治三十九年二月四日
門司野戰兵器本廠
鐵嶺出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所茲於日曆本年三月一日在鐵嶺倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午五點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月一日（自上午十點鐘起至晌午）須呈入札書卽行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠鐵嶺出張所長宗村傳喜
計開
第一號　双輪搬貨馬車六千輛
第二號　双輪搬貨馬車用車套六千副
第三號　人力單拉車一萬三千輛
明治三十九年二月四日
門司野戰兵器本廠
鐵嶺出張所

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

解傭

備技手　小里智三郎
右の者當組勤務中事務の引繼を了せず自儘に立去り居所不分明に付解傭致候條以後當組に何等の關係無之者に付此段廣告候也
遼陽　有馬組支配部

藝妓仲居新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ來り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂ホテル
（電話一四五）

廣告

松澤秀男
右自今關係無之候也
宅合名會社
營口支店

廣告

一本社は滿洲及蒙古の事情を日本各地の新聞社通信社及團体若くは個人に通報し又日本の政治經濟社會上の狀態を滿洲各地に於ける團体若くは個人に通報するを以て目的とす
一本社は今般東京通信社と特約し最も敏速なる電報通信を以て帝國議會の情勢及諸般の出來事を報道せしむ在住邦人にして電報通信を購讀せんと欲する御方は至急御申込みあれ
元神廟街四十四
滿洲通信社

一關內外盧漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　事務取扱
一鈔關手續　但弊店事務所及鄭船會社代理店內派出員ニテ
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

讓り渡し

弊樓現在の家屋疊建具付の儘讓渡し度候に付御望みの御方は至急御來談被成下度候
二月四日
平野町　春帆樓

御料理　滿月

平野町一八二（電話一六二）

御料理　滿月支店

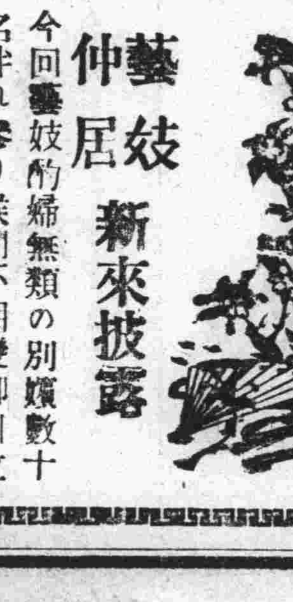
平野町（元都樓跡）
今般內地より撰り拔きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候
店主　靑木勝惠

西海洋服店

歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱主極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候
金城ホテル　旅館部



藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候
但し凡て純粹の江戸つ子
金城館料理部

會席料理　三日月

營口警務部前へ

高等旅館　彌生館

營口永世街
館主　宮下只七郎
（電四二）

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

酒保品 諸雜貨 卸商

神崎洋行

營口永世街甲百廿七號警務課前

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▲

正札 特別廉價 雜貨 賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋

永世街森病院隣

和清洋行

志田ます

風　藥

登録商標

喘息、多痰喀血、咳嗽痰稠、各種喉症、胃痛胸痛、甚至麻臥不安、飮食不進、或諸醫束手百藥罔效服用此散不論初起遠年立刻見效眞水火既濟之良方也

止咳 祛痰散

◎たんせき一切　◎肺病の特藥　◎ひきかせ

醫藥醫料器械賣　營口永世街（西順泰東首）

賣藥寫眞藥　大販賣東瀛大藥房

澤亀は醇良にして風味高尚なり

並ニ 札幌ビール、朝日ビール、政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和、酢 醬油 瓶詰樽詰、菓子色々 鑵詰、洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

宅合名會社

東營口郵便局東隣 島田洋服店

新民屯停車場前 同支店

寫眞 永清

奉天府大南門裡路西

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店へ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

SPECIAL LIGHT

(Pilesner Beer)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライトはピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライトは高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライトは其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雜貨部

御旅館

奉天 茂林館

小西邊門內路北

日本物品依托賣買幷ニ進テ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ

家屋宏壯接待優遇

標子 木板 料木 發賣

營口青堆子

清水寧木局

御旅館兼待合所

並にうどん、そば

今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候

牛家屯停車場前 若松家

各位樣

和洋 會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店

各位樣

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔 接待優遇懇切

開放全時ニ開業 奉天小西門外大街路北

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需に應ず

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類

卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街百七十號（第二市場東）

石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
白米
鑵詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
卸商

營口西北街

豐生洋行（電話十三番）

時刻

唐山至天津　塘沽至北京　天津至北京　山海關至北京

上六、二〇　上六、〇〇　上二、〇〇　上八、〇〇

下一二、二〇　下五、二〇　下六、四五

天津至山海關　唐山至山海關　山海關至營口　溝幇子至新民屯

上六、二五　上六、〇〇　上七、〇〇　上三、〇五

下一一、二〇　下一五、五八　下四、五五　下六、五七

宮門抄

初八日　順天府奏京師得雪一寸有餘　增崇續假五日　太常寺奏派備對引大臣　派出松壽　景澧

召見軍機

上諭恭錄

初七日奉

上諭張曾敭奏查明杭州等府所屬各塲未墾竈蕩田地請蠲免竈課錢粮一摺杭州嘉興松江各塲所屬荒蕪竈蕩墾復無多若將應徵竈課錢粮照常徵收竈力實有未逮加恩着照所請所有仁和海沙鮑郎蘆瀝橫浦浦東等塲荒蕪未墾竈蕩應徵上年竈課錢粮准其全行蠲免以紓竈力餘着照所議辦理該撫即刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱致意該部知道欽此

上諭周馥等奏蘇州等屬秋收歉薄請將應徵錢漕分別蠲減緩徵一摺江蘇蘇州等屬上年入夏以後欠晴缺雨八月初旬風潮陡發沿海各田同被淹浸收成均形減色若將應徵錢漕照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有長洲等二十七州廳縣拋荒坍廢等田銀米吳縣等縣被淹被歉無收田銀米丹陽縣被歛芦田下忙條銀崑山等縣拋荒芦價田條銀新陽縣展緩二十八新墾田銀米川沙等縣被淹被歉蘆田課銀着一律蠲免其震澤等縣歉收田條銀漕米各等項均着分別減免以紓民力餘着照所議辦理該督等即照所奏詳細開明區圖村莊頃畝及應行蠲免細數刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋令吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意該部知道欽此

上諭周馥等奏江寧等屬秋禾被災請將新舊錢粮懇恩蠲緩一摺江甯等屬上年收成歉薄若將新舊錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有上元等三十三州縣廳同淮安等四衛歸併各州縣經徵屯田被災歉收及未墾荒田營疊壓廢各田應徵二十一年地丁錢粮均著分別蠲緩其上元等州縣所衛廳節年未完原緩遞緩各欵暨蘆課等項銀兩均著分別展緩帶徵以紓民力該督等即照所奏詳細開明區圖村莊頃畝數目刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道欽此

上諭周馥等奏江甯等屬秋禾被災請將上年漕糧分別蠲緩一摺江蘇江甯等屬上年夏間亢旱日久秋後多雨積潦難消收成歉薄應徵新漕若令照常完納民力實有未逮加恩著照所請所有上元等五縣歉收田地並山陽等二十九州縣勘不成災田地應徵上年漕糧及改徵折色銀兩均著緩至光緒二十二年秋後分作二年帶徵其上元等五縣未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘壓廢因地除豁[illegible]啓徵外其餘坍荒地畝應徵漕糧及折色銀兩均著一律蠲免以紓民力餘著照所議辦理該督等即照所奏詳細開明區圖村莊頃畝及應行蠲免細數刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均沾毋令吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意該部知道欽此

初八日奉

旨蘇州織造仍着崇啓接管欽此

上諭二月十一日祭　社稷壇朕親詣行禮欽此

上諭二十六日祭　關帝廟朕親詣行禮欽此

上諭二月十八日祭　文昌廟朕親詣行禮欽此

奏議

政務處奏議覆裁撤黑龍江等處副都統摺

爲遵　旨議覆恭摺仰祈　聖鑒事十一月二十四日軍機處抄交署黑龍江將軍程德全奏齊齊哈爾等處副都統應否裁撤一片奉　硃批政務處議奏欽此原奏內稱江省原設副都統共七缺曰齊齊哈爾曰黑龍江曰墨爾根曰布特哈曰呼蘭曰呼倫貝爾曰通肯查黑龍江呼倫貝爾兩城地處極邊墨爾根爲省北屏蔽形勢扼要該三城副都統自應仍其舊制至齊齊哈爾副都統與將軍同城勢若枝指而呼蘭城已改設府治通肯亦設海倫直隸廳布特哈係打牲部落牲丁無多原有兩總管分駐以上四缺衡以現在情形去留無關輕重應否裁撤等語查黑龍江省地方遼闊從前未有民官是以設副都統多員藉資控制現在時勢變遷百端待理該署將軍前奏請添設府道廳縣等官專管地面不准旗員干預公事業經奉　旨允行竊維講求政治必須專一事權原奏所稱齊齊哈爾呼蘭通肯布特哈副都統四缺或與將軍同處或有府廳管理民事或有總管足資約束自無庸專設大員致多牽掣應請一併裁撤即責成該署將軍督同府廳總管等破除積習力求整頓以一政令而重邊防其黑龍江呼倫貝爾墨爾根三城將來應否添設民官幷由該署將軍隨時體察情形奏明請　旨辦理所有議覆緣由謹恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒謹

奏光緒三十一年十二月二十二日奏奉　旨依議欽此

中外要聞

●中俄議約之豫備　中日條約簽押後外部經照會俄使定期開議中俄條約並飭司員調查近年來中俄交涉案卷一面電致東三省將軍查明俄國現在東省情形詳細報部以爲議約之豫備去臘黑龍江將軍曾有長電到部內稱查俄人自與日本停戰後潛於江省竭力經營尤注意於路礦據委員查得俄人於西北利亞通主江省之鐵路附近佔用地一百餘畝屢與蒙旗糾葛又查俄人於呼蘭綏化以主江北私開礦產多處並有兵隊防守又聞俄人擬留兵隊在江開墾其意殊不可測以上情形實於大局最有關礙現擬派員與俄官磋商贖回蒙旗私售地畝惟江省庫儲支絀此項贖地之欵頗難籌措應請大部於議約時將以上應爭事件妥定條欵以維大局云云聞外部已計議一切准備提議

●法教民毆官　教民倚恃外勢欺侮鄉民已數見不鮮不料竟有强橫至毆辱官長尤爲大辱國體不可不援据公理申明法紀以杜效尤頃聞陝西有教民王奉元毆官一案省大吏以此事爲國體所關已電達政府請照會法公使飭法主教將該教民交案審辦云云其詳再俟續布

●滿洲議約問題　外交家某云中日滿洲議約已今和定議足徵日本睦鄰厚誼然中日之議約結中俄之問題起今爲懸擬議約內容最棘手之重大要點則有三大端一哈爾濱二愛琿三滿洲里此三處地方已久在俄人勢力範圍之內經營多年早視爲囊中物今開議東三省條約必首先提議開放此等地方作爲商埠以踐中日之約言然俄人能允我開放乎姑不及他卽此問題將何以解決之耶

●紀肅邸調查蒙古事件　總理理藩院事務肅親王奉　旨赴蒙古查辦事件茲據官場消息言其所應調查之事如左

(一)查俄商在庫倫樹濶爾扎薩調辦金廠情形

(二)查三音諾顏汗與扎薩克圖汗因納差搆訟情事至耗欵四十萬金一案

(三)查庫倫恰克圖出入貨稅則有無私弊

(四)查庫倫活佛與喀爾喀四部汗王與俄人有無串通情事並設法聯絡之

(五)查外蒙古四部(烏里雅蘇台庫倫科布多均在內)礦產及蒙古荒地有無私買于俄人情事

(六)查蒙古情形會同庫倫大臣烏里雅蘇台將軍擇蒙之聰明有才幹者於每部落擇一人(外蒙古喀爾喀四部一土謝圖汗部一車臣汗部一三音諾顏汗部一扎薩克圖汗部)共四人俾以練兵事宜之責任以爲自强基礎

白話

東鄉大將瑣事

日本東鄉大將戰勝俄國　功勞很大　他的平[illegible]　人人想都知道　也不必贅述　但是他在家庭裏頭所[illegible]　或有不知道的　我且細細說出　以佐談柄

大將每日清早起來時候　他家裏人猶在酣睡　大將亦不驚動他們　慢慢從房裏出來　找著掃帚　把屋裏院裏掃得干干淨淨　前年臘月得勝回國　他鄰佑人早起　看見大將拿着掃帚　在門口站著　不覺大吃一驚　以爲希罕

大將每早起來洗臉　很是草率　祇用手巾揩兩三次　嗽水三兩口　從來沒有用過香水肥皂等物

大將每坐　身子總要端正　就是很困的時候　亦不肯橫臥斜靠著

日本人愛潔淨　隔日就要洗一回澡　大將很洗不慣　有時候家裏人請他洗澡　總說你們先去　大將又不喜用石鹼　洗澡也甚草率　家裏人若是替他拭背　大將却說道　我輩男子　總是隨便好

大將閒坐時候　最喜歡寫字　手不釋筆　故頗以書著稱

大將頗不善言語　然跟人談話　卻極恭敬　極和平　且聲音洪亮　口齒清楚　想到那說到那　並沒有假話　他常告訴人道　我說話很笨　聽我說話的人想更勞苦了

大將人極平和　無疾言厲色　人最愛親近的　惟他一對眼卻有殺氣　人又很是怕他

大將於寫字以外　最用力於陽明學．陽明先生　是大將一生所最崇拜的

大將在英國多年　書房所堆的書籍　大半是英國書

大將愛寫信給遠方的朋友　遠方的朋友若來一信　必親自寫信回答　從不叫人代筆　他老師是英國士美士夫人　與別的外國人　時常與大將通信　他們得了大將回函　都很以爲貴

大將夜間睡覺時候　每夕總在十二鍾以後　次早天尚未明　就要起來　統計他睡覺時刻　不過四點鐘　而精神卻極好　毫不覺得困乏　人皆以爲神

白話記者評曰　看東鄉大將逸事　彷彿沒一點異人處　然想到他的位置　跟他的名譽　卻能與平常人一樣　無驕傲的氣象　這就是人所難能了　像那世上沒有功的人　便驕傲的了不得　眞是愧煞

豫報

昨日の氣温　最高温度廿六度六　最低温度零下五度四

昨年との比　高九度　低十一度一

NEWCHWANG, TUESDAY, FEB. 6, 1906.

THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXIX).

Unmistakably, there has been at work more actively than ever a foreign agency antagonizing Japanese interests in Korea, since the fate of the Peninsula was decided at New Portsmouth last summer. The "Korea Daily News," in the assumed role of a gallant champion to Korea, has opened against things Japanese a vigorous campaign, in fact, of too virulent a tenet to be punctiliously truthful. The Seoul contemporary has at least enjoyed an exclusive advantage——one of a war-correspondent writing from the front as an independent eye-and-ear witness. Its accounts of any moment have been ascribed to the pen of a supposedly impartial observer at the centre of events. This is calculated to carry great weight with the reader. Needless to say, this advantage has been turned to the utmost account. Not an error, however trifling, by the Japanese appears to have escaped the notice of the sharp fault-finder. Being only human, even the Japanese of the best class are apt to err in common with all humankind. As a rule, and almost without exceptions, their errors seem to have been magnified out of proportions. It is further to be suspected that, in want of materials on hand to build another choice story to suit his purpose with, liberal supply has been drawn upon the fertile [illegible]tion of the author. There [illegible] of [illegible] between [illegible] crying for p[illegible]er contr[illegible]er, [illegible] of f[illegible] [illegible]ost [illegible] was [illegible]istence. [illegible] evil after she [illegible]ond a strip of the [illegible] the average Japanese who has b[illegible] them and will see it done too in [illegible] flux began while their country w[illegible] the Colossal Cossak on land and on the se[illegible] justly absorbed in the gravest questio[illegible] Japan could, with easy conscience, deal [illegible] had done with the war first. And yet, Japan, as a whole, has been held responsible for every misdeed of those low-class undesirables, as if the government had deliberately authorized them to act as they have. From the vivid pen-pictures given by the Seoul contemporary from day to day, it would appear that the Japanese, frightful yellow monsters of chimpanzee species, with but a thin veneer of imitated civilization, have been scaring the poor inoffensive Koreans out of their home to starve, and to crown their endless list of crime, have uprooted, by open robbery, every branching fibre of the inviolate sovereignty of the State, as the greedy ape might do a *ginseng*, to make a meal upon. Such tales are meant mainly for Chinese, American, and British consumption. China is kindly warned that, if she should trust in Japan, she will be another uprooted *ginseng* only too soon, to be thrown into Japanese soup kettle. The United States is advised to slam her doors upon these dangerous baboons, who are now casting their hungry eyes on the Philippines. Great Britain who, deluded by the glamour of the glorious "Bushido," has stooped to ally herself with a country of such thieving, hideous monkeys, is called upon to see her burning disgrace and repent. Who are to profit by, supposing these tales should attain their desired triple effect? Whoever hope to reap the profit will be quite willing to pay for the up-keep of their journalistic organ at Seoul.

Mr. J. J. Woodruff of the Shanghai Branch of the Standard Oil Co. is at the port and staying with his friends Mr. and Mr. McCaslin.

The Winter Amusements Committee have announced, that owing to the absence of a number of members from the port, they have been advised to postpone the fancy dress ball originally fixed for Feb. 13th. to the 22nd. inst., Washington's Birthday.

Lt.-Col. Yokura and Mr. Royama returned from a 10 days' trip to Peking and Tientsin last Sunday evening. The Administrator was one evening at Tientsin the guest of honour at a banquet given by Gen. and Mrs. Ventris, and was presented on that occasion with a beautiful French clock by Col. Bower and five other British Officers who remembered their hospitable reception while visiting Newchwang last December.

No changes in the Exchange Quotations yesterday.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主 粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　沖の島　永世街百六十五號　店主 中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二

旅館　彌生館　永世街百六十七號

料理　やよひ　永世街百六十七號　店主 宮下只七郎

旅館　大和館　永世街十一號　店主 前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助

御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主 和田常松

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館　東雲　主任 谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街

さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

和洋御料理　東京一流かき飯　第二東京館　元神廟街　店主 松田平四郎

御料理　叮嚀專一　柳亭　豊濟門街二三　店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉　一力　營口永世街　店主 堀万助

和洋料理　松月亭　本店 營口元神廟街一四三号

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　支店 遼陽西街西門一二七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任 井上源吉

御料理會席　菊水館　主任 朝枝團擔

旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任 西野治三郎

會席御料理　來々亭　主任 石田清

料理　喜樂亭　營口元神廟街　鋤焼　亭主 元權

諸鐵工製作　鑛山船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般

（營口綏定門街　ブツジ商會東）　川喜鐵工塲

御旅館　天津　芙蓉館　駐屯軍御用　並西洋料理　（電話四十一番）

北京　扶桑旅館　東單牌樓大街路西　客室清潔　料理鮮新

御旅館　豊陽館　上海（電話一〇六番）　日本郵船會社荷客取扱　歐米瀛船乘船取扱　館主 米田藤吉

發賣　料木　標子　木板

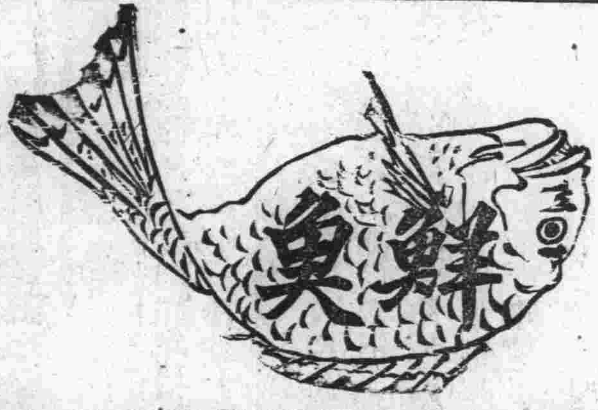
塩川商會

清國營口二本町一五五號　主任 鹽川峰吉

遼陽小西門内　鹽川商會（電話一三六番）

建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘　外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也



弊店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候　敬具

營口南永世街百廿七號　森屋洋行

大連大山通り二丁目　仝支店

遼陽西門外　代理店 林洋行

奉天小西門外　代理店 米田洋行

爲替相場（二月五日）

上海は百圓に付六十七兩二錢五分

天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢

芝罘は天津と同直段

日本品最近物價表　加藤洋行調査

樽物類

菊正宗	三斗九舛入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四舛入	同十七圓
菊正宗	瓶詰四打	同十五圓
鮪	四打入	同十三圓
ラツキヨ	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	仝	同八圓
鷲ミルク	仝	同十八圓

石炭（飯塚工程局）

一上等塊炭	一噸ニ付	銀十八圓
一仝　切込	仝	[illegible]

大連　東洋ホテル

大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓

○上等日本米　一石に付　銀二十圓

○板材木　○木灰

○亞鉛板　○洋釘

○干鱈魚　○石炭

喜久洋行

永世街八十號（電話百五十二番）

雜貨

醬油　味噌　淸酒

營口西北街

阪神組

卸小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

飯塚工程局材料部

營口元神廟前（電話百三十五番）

軍票騰貴致候に付弊より五歩引を以て正札價格御用達可申候

銘酒菊正宗新着!!

尚最上日本白米及マツチ新荷着仕候

雜貨商　加藤洋行（營口電話八十番）

本店 天津日租界　大阪

支店 營口　北京

出張所 遼陽

MANCHURIA DAILY REPORT.

Subscription 4 cts. a copy

80 cts. per month.

$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付	銀四仙
一ケ月前金	銀八十仙
半ケ年前金	四弗八十仙
一ケ年前金	銀九弗六十仙